

## 追加機能一覧

ファームウェア V1.10より、次の機能が追加されました。

1. Web Server Based Control機能の追加
2. 自動時刻補正機能の追加

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「MENUキー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“ON”のように“\_”で括弧で表記します。
- パソコンのディスプレイに表示される文字を《Next》のように《 》で括弧で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## Web Server Based Control 機能

インターネットブラウザで、HD-R1のポートと設定の一部が行えます。

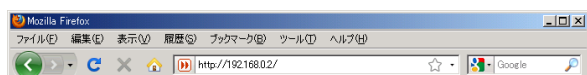
使用できるブラウザは、Internet Explorer 7, 8と、Firefox 3.5.6以降、またはSafariです。

### 注意

インターネットから本機を直接見られるようにした場合、特にTelnetにパスワードがないため、外部から攻撃を受けるなどの危険性があります。

1. パソコンでインターネットブラウザを起動し、アドレスバー（ロケーションバー）に、HD-R1に割り当てられたIPアドレスを **http://** に続けて入力してください。

入力例 **http://192.168.0.2/**



HD-R1に割り当てられたIPアドレスを確認するには、メニュー画面から“System Settings”メニュー内の“Network”サブメニューで表示される“IP Address”の項目を確認してください。



[Networkサブメニュー画面]

### 注意

“IP Mode”を“Static”で使用するときには、プライベートアドレスを使用してください。（グローバルアドレスを取得されている場合には、その限りではありません。）

プライベートアドレスとして使用できる範囲は、次の範囲です。

クラス	IPアドレス	サブネットマスク
A	10.0.0.0～ 10.255.255.255	255.0.0.0
B	172.16.0.0～ 172.31.255.255	255.255.0.0
C	192.168.0.0～ 192.168.255.255	255.255.255.0

IPアドレスの競合には、注意してください。

LAN管理者がいる場合には、必ず相談のうえご使用ください。DHCPで使用する場合には、DHCPサーバーが自動的にIPアドレスを割り当てるため、グローバル/プライベートアドレスを意識する必要はありませんが、多くの場合に毎回割り当てられるIPアドレスが異なるため、割り当てられたIPアドレスを、毎回確認し入力する必要があります。（DHCPサーバーがMACアドレスによる静的割り当てをしていれば、IPアドレスは変わりません）

2. パソコンのディスプレイにパスワード入力画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名は《HDR1》、パスワードは《hdr1》です。（大文字、小文字の区別があります。）

### 注意

ユーザー名とパスワードは固定で変更できません。

3. パソコンのディスプレイにポート画面が表示されます。この画面では、ポートキーを使った操作とほぼ同じ操作が行えます。

### 注意

《Prev》ボタンまたは《Next》ボタンの長押しによる早戻しおよび早戻しサーチ、早送りおよび早送りサーチは行えないなど一部使えないコマンド、MODEキーやSHUTTLE/DATAホイールなどのキーは無いなど、フロントパネルにあるキー操作が全てできるわけではありません。

4. 設定を変更するには、《Settings》ハイパーリンク表示をクリックし、セッティング画面を表示します。

### 注意

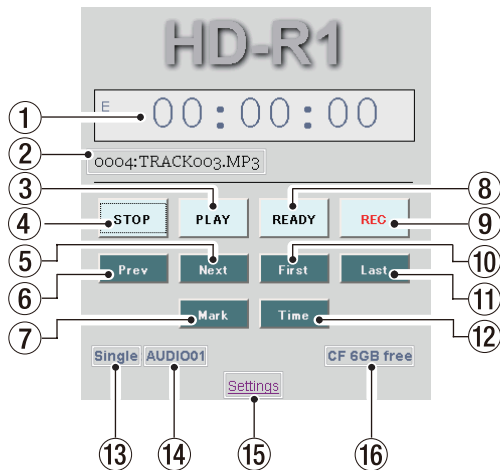
本体で設定できる全ての項目が、セッティング画面で設定できるわけではありません。一部設定できない項目があります。（ネットワーク設定など）

5. セッティング画面からポート画面に戻るには、《Transport》ハイパーリンク表示をクリックします。

### 注意

ポート画面とセッティング画面をタブなどで同時に開かないでください。

トランスポート画面



① 時間表示

《時：分：秒》単位で、トータル時間、トータル残時間、トラック時間、トラック残時間のいずれかを表示します。

アイコン表示	内容
《E》アイコン点灯時	現在のトラックの経過時間を表示します。
《R》アイコン点灯時	現在のトラックの残時間を表示します。
《E》および《T》アイコン点灯時	再生エリアの先頭からの経過時間を表示します。
《R》および《T》アイコン点灯時	再生エリアの残時間を表示します。

② カレントトラック

カレントトラックを表示します。

③ PLAYボタン

トランスポートキーのPLAYキーと同様の動作を行います。現在のトランスポート位置から再生を始めます。録音待機中に押すと、録音を始めます。再生中には、緑色に点灯します。

④ STOPボタン

トランスポートキーのSTOPキーと同様の動作を行います。トランスポートを停止します。その他、トランスポートキーのSTOPキーと同じ役割をします。

⑤ Nextボタン

トランスポートキーのSKIP ►►キーに準じた動作を行います。次のトラックの先頭にロケートします。最終トラックで押すと、トラック1の先頭にロケートします。SKIP ►►キーと異なり、クリックし続けても、早送りおよび早送りサーチは行えません。また、SHIFTキーと同時に押しても、ショートカットキーにはなりません。

⑥ Prevボタン

トランスポートキーのSKIP ◀◀キーに準じた動作を行います。トラックの先頭から1秒以降の位置で押すと、現在のトラックの先頭にロケートします。トラックの先頭から1秒以内の位置で押すと、手前のトラックの先頭にロケートします（一般のCDプレーヤーと同様の動作です）。トラック1の先頭から1秒以内の位置で押すと、最終トラックの先頭にロケートします。

SKIP ◀◀キーと異なり、クリックし続けても、早戻しおよび早戻しサーチは行えません。また、SHIFTキーと同時に押しても、ショートカットキーにはなりません。

⑦ Markボタン

トランスポートキーのMARKキーに準じた動作を行います。現在の位置にマーカーを作成します。マーカーには、先頭文字“MARK”で始まる名前がつけられます。SHIFTキーと同時に押しても、ショートカットキーにはなりません。

⑧ READYボタン

トランスポートキーのREADYキーと同様の動作を行います。停止中に押すと、再生待機になります。再生中に押すと現在位置で再生待機し、《PLAY》ボタンを押すと再生が再開されます。録音中に押すと録音を一時停止し（入力モニターは継続）、《PLAY》ボタンを押すと新しいトラックが作成され録音が再開されます。再生待機中や録音待機中に押した場合は無効です。再生待機中や録音待機中には、黄色に点灯します。

⑨ RECボタン

トランスポートキーのRECORDキーと同様の動作を行います。停止中に押すと録音待機になり、入力モニターがオンになります。録音待機中に《PLAY》ボタンを押すと録音が始まります。録音待機中および録音中は、《REC》ボタンが赤く点灯します。録音中にこのボタンを押すと、トラックがインクリメントされます。

⑩ Firstボタン

トラック1の先頭にロケートします。

⑪ Lastボタン

最終トラックの先頭にロケートします。

⑫ Timeボタン

トランスポートキーのTIMEキーに準じた動作を行います。時間表示を切り換えます。

⑬ 再生モードインジケータ

再生モードが表示されます。《All》、《Folder》、《Playlist》、《Single》

⑭ カレントインジケータ

カレントのフォルダまたはプレイリストを表示します。

⑮ Settingsハイパーリンク

ここをクリックすると、セッティング画面に移動します。

⑯ メディアインジケータ

メディアの種類（《CF》または《USB》）と、そのメディアの大まかな残量を表示します。

## セッティング画面

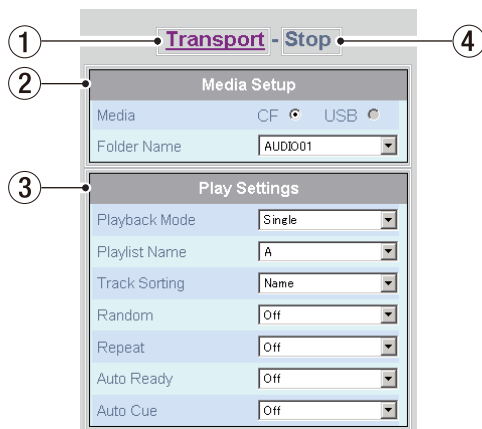
各設定のコンボボックスから値を選択して、変更することができます。コンボボックスは、クリックすることで選択肢が表示され、クリックした値に変更されます。

5-14 《File》と5-15 《Mark》の項目のみ直接入力します。

本体が停止状態（トランスポート状態表示がStop）でのみ選択、変更が可能です。（本体のメニュー画面では、再生時などでも変更可能な項目も、ブラウザーからでは変更できません。）

《Media Setup》、《Play Settings》、《Record Settings》、《System Settings》の4つのセクションがあります。設定できる項目が多く、通常はブラウザーで一度には表示されません。表示されていない部分はブラウザーのスクロール機能を使うことで表示されます。

各項目の詳細は、本体のMENUシステムの各設定項目に準じます。



[セッティング画面・Media Setup & Play Settings表示部]

### ① Transportハイパーリンク

ここをクリックすると、トランスポート画面に移動します。

### ② Media Setupセクション

#### 2-1 Media

メディアを切り換えることができます。

《CF》または《USB》の各メディア表示の右にあるラジオボタンがあり、黒ドットのついているメディアが現在選択されています。ラジオボタンをクリックすると、そちらのメディアが選択され、黒ドットがつかます。

挿入されていないメディアのラジオボタンは、グレーアウトして選択できません。

#### 2-2 Folder Name

コンボボックスからフォルダを選択します。

コンボボックスの一番下に《Create New Folder》という選択肢があり、これをクリックすると、新規フォルダが作成され、このフォルダをカレントフォルダに設定します。また、このフォルダには自動的に名前がつけられます。

### ③ Play Settingsセクション

#### 3-1 Playback Mode

再生モードをコンボボックスから選択します。

#### 3-2 Playlist Name

プレイリストをコンボボックスから選択します。

コンボボックスの一番下に《Create New Playlist》という選択肢があり、これをクリックすると、新規プレイリストが作成され、このプレイリストをカレントプレイリストに設定します。また、このフォルダには自動的に名前がつけられます。

#### 注意

プレイリストの編集は、ブラウザーからはできません。

#### 3-3 Track Sorting

トラックのソート基準をコンボボックスから選択します。

#### 3-4 Random

ランダム再生のオン/オフをコンボボックスから選択します。

#### 3-5 Repeat

リピート再生のオン/オフをコンボボックスから選択します。

#### 3-6 Auto Ready

オートレディ機能のオン/オフをコンボボックスから選択します。

#### 3-7 Auto Cue

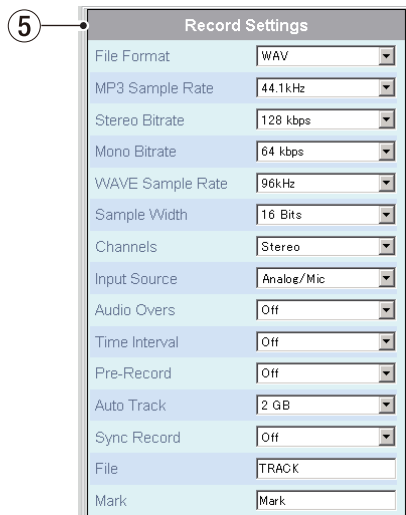
オートキュー機能をオフにするか、オンにする場合のスレッシュホルド値をコンボボックスから選択します。

### ④ トランスポート状態表示

トランスポート状態を表示します。

《Stop》、《Play》、《Pause》、《Record》が表示されます。

《Stop》でないときは、以下の全ての設定の選択、および変更ができません。



[セッティング画面・Record Settings表示部]

## ⑤ Record Settingsセクション

### 5-1 File Format

録音ファイルフォーマットをコンボボックスから選択します。

### 5-2 MP3 Sample Rate

MP3ファイル録音時のサンプルレートをコンボボックスから選択します。

### 5-3 Stereo Bitrate

ステレオMP3ファイル録音時のビットレートをコンボボックスから選択します。

### 5-4 Mono Bitrate

モノラルMP3ファイル録音時のビットレートをコンボボックスから選択します。

### 5-5 WAVE Sample Rate

WAVファイル録音時のサンプルレートをコンボボックスから選択します。

### 5-6 Sample Width

WAVファイル録音時のビット長をコンボボックスから選択します。

### 5-7 Channels

入力するチャンネルをコンボボックスから選択します。

### 5-8 Input Source

入力ソースをコンボボックスから選択します。

### 5-9 Audio Overs

オーディオ入力のオーバーロード時に自動的にマーキーを作成する機能のオン/オフをコンボボックスから選択します。

### 5-10 Time Interval

一定の時間間隔で自動的にマーキーを作成する機能をオフするか、オンにする場合その間隔をコンボボックスから選択します。

### 5-11 Pre-Record

プリレコードのオン/オフをコンボボックスから選択します。

### 5-12 Auto Track

録音するオーディオファイルの最大サイズをコンボボックスから選択します。

### 5-13 Sync Record

シンクレックの機能をオフにするか、オンにする場合そのスレッシュホールド値をコンボボックスから選択します。

### 5-14 File

新規オーディオファイルを作る場合のベース名を設定します。このボックスはコンボボックスの選択ではなく、文字を入力してください。使用できるのは、半角英数字のみです。最大入力可能文字数は20字です。

### 5-15 Mark

新規マーキーのベース名を設定します。このボックスはコンボボックスの選択ではなく、文字を入力してください。使用できるのは半角英数字のみです。最大入力可能文字数は20字です。



[セッティング画面・System Settings表示部]

## ⑥ System Settingsセクション

### 6-1 Ducking Mode

ダッキングモードをコンボボックスから選択します。

### 6-2 Ducking Threshold

ダッキング動作のスレッシュホールド値をコンボボックスから選択します。

### 6-3 Ducking Attenuation

ダッキング動作の減衰レベルをコンボボックスから選択します。

### 6-4 Ducking Hold Time

ダッキングスレッシュホールドを下回ってからダッキング機能をオフにするまでの時間をコンボボックスから選択します。

### 6-5 Meter Clip Hold

メータークリップ時に点灯したオーバーロードインジケータを消灯するまでの時間をコンボボックスから選択します。

### 6-6 Meter Decay Rate

メーターのディケイスピードをコンボボックスから選択します。

### 6-7 Meter Peak Decay

メーターピークのディケイスピードをコンボボックスから選択します。

### 6-8 Meter Overload Threshold

メーターオーバーロードが点灯するスレッシュホールドレベルをコンボボックスから選択します。

### 6-9 Parallel Mode

パラレルポートからトラックを、どのようにコントロールするかをコンボボックスから選択します。

### 6-10 Input Polarity

パラレルポートの入力信号の極性をコンボボックスから選択します。

### 6-11 Busy 1 Signal

ビジー 1 信号を発生する条件をコンボボックスから選択します。

### 6-12 Busy 1 Polarity

ビジー 1リレーのアイドル時の極性をコンボボックスから選択します。

### 6-13 Busy 2 Signal

ビジー 2 信号を発生する条件をコンボボックスから選択します。

### 6-14 Busy 2 Polarity

ビジー 2リレーのアイドル時の極性をコンボボックスから選択します。

### 6-15 Resume

リジューム機能のオン/オフをコンボボックスから選択します。

### 6-16 Shuttle Mode

SHUTTLE/DATAホイールを使って、トランスポートをコントロールするモードをコンボボックスから選択します。

### 6-17 Ref Level

アナログリファレンスレベルを、どのデジタルオーディオレベルに合わせるかをコンボボックスから選択します。

### 6-18 CF Door Action

CFカードスロットのドアが開いたときに取るアクションをコンボボックスから選択します。

### 6-19 Keyboard Type

本体のUSBポートに接続するキーボードのタイプをコンボボックスから選択します。

### 6-20 Trigger Mode (Playlist Defaultの設定)

外部入力トラック再生を、どのようにコントロールするかをコンボボックスから選択します。

### 6-21 Interruptible (Playlist Defaultの設定)

トラック再生中に別のトラックが再生トリガーを受けたときの割り込みを、許可するかどうかをコンボボックスから選択します。

### 6-22 Repeat Count (Playlist Defaultの設定)

トラックがトリガーを受けて再生する時のリピート回数をコンボボックスから選択します。

### 6-23 Attenuation (Playlist Defaultの設定)

再生時のトラックのレベルを下げることができ、そのレベルをコンボボックスから選択します。

## ⑦ Transportハイパーリンク

ここをクリックすると、トランスポート画面に移動します。



## 自動時刻補正機能

インターネット上にあるNTPサーバーにアクセスして同期をとることで、現在日時（システムタイム）を1日一回、自動で補正することができます。

### 注意

- インターネットから本機を直接見られるようにした場合、特にTelnetにパスワードがないため、外部から攻撃を受けるなどの危険性があります。
- アクセス先は、tock.usno.navy.mil、time.windows.com、pool.ntp.org の何れかを自動で選択します。他のサーバーは選択できません。
- 時刻補正は、前回のアクセスから24時間後に行います。

この機能を追加したことにより、取扱説明書 第3章「画面とメニュー」の「Utilitiesメニュー」の「Setup System Time」の項目が変更になります。

これまでは、「Setup System Time」を選択（反転表示）してENTERキーを押すと、マニュアルでの時刻設定画面となっていたが、「Setup System Time」サブメニューが表示されます。



[Setup System Timeサブメニュー画面・Use Time Server Off]

“Setup System Time”サブメニューの表示内容は、“Use Time Server”の項目を“On”にしているか“Off”にしているかで変わります。

### “Use Time Server”が“Off”になっているとき

#### 現在の時刻表示

リアルタイムクロックの現在日時（システムタイム）を表示します。12時間表示（am、pm）で、h:mm:ss(am/pm) MMM DD, YYYYの形で表示されます。

例) 2010年5月26日18時46分58秒の場合、  
“6:46:58pm May 26, 2010”と表示します。

#### Use Time Server

NTPサーバーに接続して自動的に現在日時（システムタイム）を補正する機能です。“On”にすると、24時間毎にインターネット上のNTPサーバーにアクセスし、自動的に補正します。また、“Time Zone”と“Daylight Saving Time”が使えるようになります。

### ヒント

あらかじめHD-R1のシステムタイムを大きくずらしておいてから、“Use Time Server”を“On”にしたときに時間が合うかどうかで、NTPから時刻を取得できたかどうかを確認することができます。

### Manually Set Time

この項目は、“Use Time Server”を“Off”に設定しているときのみ表示されます。

この画面で本機のリアルタイムクロックの現在日時（システムタイム）を設定します。

画面表示中、SKIP (◀◀ / ▶▶) キーを使ってデータフィールドを移動し、SHUTTLE/DATAホイールを使って値を変更します。編集を終えたら、SKIP (◀◀ / ▶▶) キーを使って“SAVE”を反転して、ENTERキーを押します。編集したシステムタイムが確定し、画面が“Setup System Time”サブメニューに戻ります。編集をキャンセルするには、CANCELキーを押します。画面が“Setup System Time”サブメニューに戻るとともに、システムタイムも以前の設定に戻ります。

### メモ

システムタイムは、工場での生産時にセットされています。初めて本機を使用するときにシステムタイムを設定してください。

### Time Zone

この項目は、“Use Time Server”を“Off”に設定しているときには無効です。

### Daylight Saving Time

この項目は、“Use Time Server”を“Off”に設定しているときには無効です。

### “Use Time Server”が“On”になっているとき

#### 現在の時刻表示

“Use Time Server”が“Off”のときと同じです。

#### Use Time Server

“Use Time Server”が“Off”のときと同じです。

#### Sync Time Now

この項目は、“Use Time Server”を“On”に設定しているときのみ表示されます。

この項目を選択（反転表示）してENTERキーを押すと、インターネット上のNTPサーバーにアクセスして現在日時（システムタイム）を自動的に補正します。

### Time Zone

この項目は、“Use Time Server”を“On”に設定しているときのみ有効です。

タイムゾーンを指定して、現在地の標準時からの補正をかけることができます。標準時（GMT/UTS）に対して-11～+12の範囲でほぼ1時間おきに設定できます。

タイムゾーン名と標準時からの時差が表示されます。時差は“GMT+h”または“-h”のように表示されます。“h”は時間を表し、30分刻みの場合は“3:30”のように表示します。

### 注意

自動時刻補正機能は、標準時を取得して内蔵時計を補正します。“Use Time Server”を“On”にしたときには、正しくタイムゾーンを設定しないと正しい時刻が表示されませので、必ずタイムゾーンは設定してください。

### Daylight Saving Time

この項目は、“Use Time Server”を“On”に設定しているときのみ有効です。

夏時間(Daylight Saving Time:DST)を使用することができます。“On”に設定すると現在日時(システムタイム)が夏時間を加味して補正されます。

#### **注意**

対応している夏時間は、北アメリカ仕様(2010年時点)のみです。

開始：3月の第二日曜日午前2時

終了：11月の第一日曜日午前2時

補正：上記の期間で時刻を一時間早めます。

---

Memo

---